

<p>【技術の名称】 Hi-Pres 工法 -Hi-Pres 定着具を用いたPC鋼より線の緊張工法 - (改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-25号 改 性能証明発効日：2010年7月13日</p> <p>【取得者】 アンダーソンテクノロジー株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、JIS G 3536 に適合した PC 鋼より線を緊張材とし、その両端部に鋼製のウェッジとアンカーヘッドおよび鋳鋼製のアンカープレートを組み合わせた定着具（以下、Hi-Pres 定着具と呼ぶ）を用い、コンクリート部材にプレストレスを与える緊張工法（以下、Hi-Pres 工法と呼ぶ）である。Hi-Pres 定着具に用いる鋼材および鋳鋼は、中華人民共和国国家標準（GB/T3077-1999、GB/T11352-89）に適合する。Hi-Pres 定着具には、モノグループシステムとモノストランドシステムがあり、前者は緊張後にグラウト注入を行うボンドタイプ、後者はアンボンドタイプである。

本工法は、2008年1月8日にGBRC性能証明 第07-25号を取得し、2010年7月13日の改定では、本工法で用いる PC 鋼より線の日本工業規格表示認証を取得した製造工場を追加している。

【技術開発の趣旨】

本工法に用いる Hi-Pres 定着具は、申込者既開発のコンクリート構造物に用いる定着具（AAS 定着具と呼ぶ）よりも軽量、小型化し、建築物に適用することを意図して開発されている。小型化に伴う定着具まわりの支圧応力の増加に対しては、スパイラル筋および帯筋（これらを定着部補強筋と総称する）を配置することによって対処している。

【性能証明の内容】

申込者が提案する Hi-Pres 工法に用いる定着具および定着部は、それぞれ日本建築学会「プレストレスト鉄筋コンクリート（Ⅲ種 PC）構造設計・施工指針・同解説」の付録3に示される要求性能を満足すると判断される。

Hi-Pres 定着具の特徴

アンカープレートの支圧面を3段にし、支圧面の形状を円筒形にし、材質を変更したことで、小型・軽量化を図った。



スリーブ鋼管を取外したところ

Hi-Pres 定着具(モノグループシステム)

部品番号	部品名	部品番号	部品名
1	ウェッジ	4	定着部補強筋(スパイラル筋)
2	アンカープレート	5	スリーブ鋼管
3	アンカーヘッド	6	PC鋼より線



ポケットフォーマーを取外したところ

Hi-Pres 定着具(モノストランドシステム)

部品番号	部品名	部品番号	部品名
1	ウェッジ	4	定着部補強筋(グリッド筋)
2	アンカープレート	5	ポケットフォーマー
3	—	6	PC鋼より線



緊張ジャッキ
(AJ250)



定着具取付状況
(AAS13-7C)

【本技術の問合せ先】

アンダーソンテクノロジー株式会社 担当者：荻米國松 E-mail：ags-k@anderson-tech. co. jp
 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番14号小里会館3階 TEL：03-3595-5888 FAX：03-3595-5811